

検査の算定について

患者の病状と主訴に基づいた必要最小限の検査をするように心がけて下さい。

治療に関係のない病名はつけないで下さい。特定の病名が多いと査定の対象になりますのでご注意下さい。

(動脈硬化性網膜症等)

傷病名が外眼部疾患（霰粒腫・麦粒腫等）のみの場合

初診時：若年者の眼圧は算定出来ません。
眼底検査は実際に行った場合
算定できます。

再診時：眼圧・眼底検査は出来ません。

屈折病名のみの眼圧検査

若年者は算定出来ません。

結膜炎等でステロイド剤点眼時

眼圧検査：2回／月まで、3回必要の場合
注記必要

眼底検査：1回／月まで

眼底3次元画像解析（OCT）

眼底カメラとの同時算定はできません。

網膜硝子体疾患、緑内障（疑）、高眼圧で算定できます。

網膜周辺の病変では算定はできません。

以上ご注意ください。

動脈硬化性網膜症、網膜裂孔、網膜変性症では原則算定できません。

睫毛抜去（少数の場合）

他の眼科処置又は眼科手術に併施した場合は、その所定点数に含まれ別に算定出来ません。

K 2 8 2 水晶体再建術

眼内レンズ挿入を予定して手術を行ったが、合併症のため眼内レンズは挿入せず、数日以内に眼内レンズを挿入した場合：

K 2 8 2-2 水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない場合）と

K 2 8 2-1 水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）の両方を算定可能です。

負荷屈折検査

負荷屈折検査（138点）は屈折（69点）＋負荷後屈折検査（69点）として算定し138点となります。

同時に屈折検査（69点）を算定すると重複となりますのでご注意ください。

調節検査

屈折病名及び老視や調節異常の病名があれば、調節力の測定、近方視力測定、近用眼鏡処方等を行えば算定可能ですが、ルーチンに行う検査ではありません。初診、再診にかかわらず、症例を選んで算定してください。傾向的、画一的と認められる場合は査定の対象となりますので、ご留意ください。

初診時検査

D277涙液分泌機能検査

D268眼筋機能精密検査及び輻輳検査

D272両眼視機能精密検査

立体視検査

初診時であっても該当傷病名が必要。

特定疾患療養管理料 (糖尿病網膜症)

主病である糖尿病に対して、治療計画に基づき、服薬・運動・栄養等の療養上の管理が行われている場合、算定可能です。日本眼科医会は糖尿病網膜症を主病と見なすのは難しいとの判断になり、算定は難しいとの見解です。

厚生局は眼科では認めていません。監査が入ると5年間返還が求められた事例があります。

粘弾性物質

硝子体手術時の粘弾性物質の算定は出来ません。

白内障手術あるいはIOL挿入術との併用時は算定可能です。粘弾性物質の量は2本まで、それ以上は必要な理由を注記してください。

実際に使用した分のみ請求してください。

疑い病名での治療

疑い病名での投薬、治療は原則認められません。

急性期の病名は認められる場合があります。
(流行性角結膜炎)

縦覧審査がはじまります。疑い病名を長期間続けると査定の対象になります。速やかに診断を確定して下さい。

術前検査

術前検査での血液像、尿沈査は算定出来ません。

3ヶ月以内の術前検査2回は算定できません。

術前検査 2

- B-モードエコー、
- フィブリノーゲン
- 尿糖定量

以上はルーチンの検査としては認められませんので、ご注意ください。

白内障術前検査でASLO、RA、静的量的視野
・動的量的視野検査、眼底カメラは算定できません。

ERGは眼底透見不能の場合に算定可能です。

手術中の抗生剤

手術中の抗生剤の全身投与は認められますが、術野洗浄は認められません。

術野洗浄は抗生剤の点眼を使用してください。

術後検査と投薬

順調な経過での白内障術後 1 ヶ月で精密眼圧、精密眼底検査は 3 回程度までです。

片眼手術で両眼精密眼底検査は認められません。

術後の抗菌薬の投与は 3 ヶ月までです。

白内障手術時

角膜曲率半径：

両眼手術時 3 回まで / 手術月

片眼手術時 2 回まで / 手術月

翌月から 1 回 / 月

術後眼底検査：

手術眼につき術後 1 ヶ月は 3 回まで。

片眼手術で両眼精密眼底検査は認め

られません。

手術

手術眼の左右を必ず記載して下さい。

光凝固術後の抗生剤の点眼処置は認められません

角膜内皮検査は術前術後で月1回、術後3ヶ月までは月1回、4～6ヶ月で1回算定出来ます。

点眼薬処方

新薬の場合一処方で2週間分まで、
一般的に和歌山県では3本まで。

返戻付せん

返戻時には返戻付せんに記載し、
レセプト本体およびカルテ・レセコンも
訂正することが必要です。

終わりに

- 患者の病状と主訴に基づいた必要最小限の検査の保険請求をするように心がけて下さい。